

2022年6月29日

各位

JX金属株式会社

## 非鉄業界として初のトランジション・リンク・ローン・フレームワークを策定 ～脱炭素・循環型社会の実現に向けた取組みの加速～

JX金属株式会社（社長：村山誠一、以下「当社」）は、脱炭素および循環型社会の実現に向けた取組みの一環として、「トランジション・リンク・ローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）※<sup>1</sup>を策定いたしました。本フレームワークは株式会社みずほ銀行（頭取：加藤勝彦）の支援を受けて策定したものです。

トランジション・リンク・ローン（TLL）は、企業のトランジション戦略と整合するサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、SPTs達成状況に応じた金利条件の連動等のインセンティブを付与することにより、脱炭素社会への移行に向けた企業の取組みを支援し、ひいては脱炭素社会の実現を促進させることを目的としたローン形態です。当社は本フレームワークについて、株式会社日本格付研究所（JCR）※<sup>2</sup>から、経済産業省・環境省・金融庁の定める「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」などの各種原則やガイドラインに準拠する旨の第三者評価を非鉄業界で初めて取得しました。

当社は、CO<sub>2</sub>の自社排出量を2030年度に50%削減（2018年度比）、2050年度ネットゼロという長期目標を掲げて脱炭素社会の実現に向けた取組みを進める※<sup>3</sup>とともに、循環型社会の実現に向けて銅製錬におけるリサイクル原料比率を2040年度までに50%にまで高める目標を掲げています※<sup>4</sup>。これら目標をベースに、本フレームワークにおいては①2030年度までCO<sub>2</sub>排出量の50%削減維持（2018年度比）、②リサイクル原料比率を2030年度に25%まで引上げの2つをSPTsに設定し、その達成状況をTLLの金利条件と連動させることにより、当社としてトランジション戦略の実行をコミットする仕組みを構築しております。

今後も当社は、資源、金属製錬、先端素材、リサイクルまでの一貫した事業運営を通して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

- ※1 トランジション・リンク・ローン・フレームワーク  
[https://www.nmm.jx-group.co.jp/newsrelease/upload\\_files/2022/06/29/6018119\\_01\\_20220629\\_02.pdf](https://www.nmm.jx-group.co.jp/newsrelease/upload_files/2022/06/29/6018119_01_20220629_02.pdf)
- ※2 株式会社日本格付研究所のウェブサイト  
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>
- ※3 JX金属サステナビリティレポート2021「2050年度CO<sub>2</sub>ネットゼロの達成に向けて」（2021年9月発行）  
[https://www.nmm.jx-group.co.jp/sustainabilityreport/2021/p29\\_32.html](https://www.nmm.jx-group.co.jp/sustainabilityreport/2021/p29_32.html)
- ※4 JX金属サステナビリティレポート2021「サーキュラーエコノミーのもとで成長ビジョンを描く」（同上）  
[https://www.nmm.jx-group.co.jp/sustainabilityreport/2021/p33\\_36.html](https://www.nmm.jx-group.co.jp/sustainabilityreport/2021/p33_36.html)

以上